

新町通街路整備事業の進捗状況は

最優先課題として取り組み中

公共事業



置田武司 議員

議員 「新町通街路整備事業」の進捗状況について、執行方針では市街地基盤整備の中で、地元期成会と一体となり、強く関係機関へ要請すると述べている。

事業主体は、期成会であり、地権者ですが街区には、空き地、空き店舗が非常に目立つ現状です。地権者である住民も高齢化している。

町、会議所の連携の中で、次の一步を踏み出す強いリーダーシップを持って、道ならびに関係機関への、積極的な要請行動をすべきと考えるが、町長の見解を伺う。



空き地、空き店舗が多い新町通り

町長 「新町通街路整備事業」は栗山市街地の活性化と都市機能の充実を図るため最優先課題として取り組んでいます。

地元期成会と一体となつて北海道の出先機関へ直接、陳情活動も行っています。北海道としても、事業内容や費用対効果について精査しています。

町としても、早期の事業着手に向けて、地元期成会や商工会議所、関係機関と一体となり陳情活動を今後も粘り強く行っていく予定です。



反問！

町長 期成会の後継者が少ない。いてもなかなか参画しない状況です。置田議員さんも商店街の代表として顧問なり、その構成に入り、経験を生かしながらアドバイスをする事については検討したことがあるか。

議員 顧問や議員という立場でないが、積極的に私自身もこのことに対しては関与していきたい。その期待に町長にも応えていただきたい。